兵庫県教育委員会丹波教育事務所 教育支援チーム





令和3年9月号

今年の夏休みも新型コロナウィルス感染拡大防止に配慮されながら過ごされたのではないで しょうか。緊急事態宣言によって行事計画の変更など苦心されておられることと思います。

そういった状況で2学期が始まり、学校中心の生活リズムが戻るまで、子どもたちも職員の皆 様も大変かと思います。心身の健康にご留意ください。教育支援チームは、2学期も学校の応援 団として元気な学校づくりを精一杯支援してまいります。

夏休み明けこそ要注意!

文科省が6月にまとめた報告書によると、令和2年中に自殺・自死で亡くなった児童・生徒 数は、前年よりも 100 人多い499人だったそうです。

▽小学生が前年より6人増えて14人

(男子が3人から4人・女子が5人から10人)

▽中学生が前年より34人増えて146人

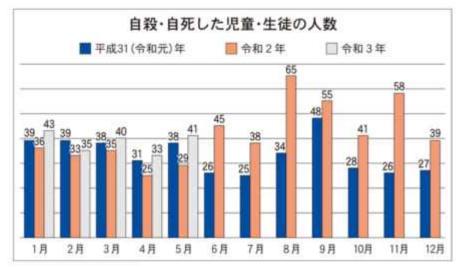
(男子が65人から77人・女子が47人から69人)

▽高校生が前年より60人増えて339人

(男子は前年と同じ 199人・女子が80人から140人)

月別では、8月65人、11月58人、9月55人、6月45人と、新型コロナウィルス感染 症対策による一斉休校や夏休みといった長期休暇明けなどに多い傾向です。

今年に入ってからは 1 月から 5 月までいずれも前の年を上回る状態が続いています。



(日本教育新聞 2021年7月19日)

自殺は「孤立の病」とも呼ばれていますが、子どもは必ず「助けて!」とい う必死の叫びを発しています。学校で毎日のように子どもに接している先生方 こそが、この叫びを最初に受け止めるゲートキーパーでもあります。

その先生方に向けたマニュアルの「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防」 は、下記のホームページに掲載していますので、ぜひとも一読願います。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/index.htm

子供たちが狙われています!

生まれたときからインターネットが身近にある今の子どもたち。小学生から自分自身のスマートフォンを持ったり、授業でパソコンを使ったりして、インターネットを利用する機会が増えています。一方で、ネット依存やネットいじめ、SNS を通じた性犯罪被害など、インターネット利用をめぐる様々な問題が発生し、誰にも言えず苦しい思いをしている子どもが近くにもいます。このことを周囲が理解しながら支援を行うことが大切です。



(警察庁「STOP!ネット犯罪」)

ひょうごっ子悩み相談

誰にも相談できない子どもや保護者からのSOS・インターネット利用に関するトラブル・いじめなどの悩みに対する相談の窓口があることを子ども自身や保護者の方にも知っていただきたいと思います。下記の相談窓口の周知を積極的にお願いします。

◆「ひょうごっ子くいじめ・体罰・子ども安全>相談24時間ホットライン

電話相談 0120-0-78310 (通話料無料)

対応:365日24時間

◆ひょうごっ子悩み相談センター

電話相談 0120-783-111 (通話料無料・携帯電話利用不可)

対応:平日のみ 9:00~17:00

面接での相談も可能です(予約制。上の番号におかけください)。

- ◆ひょうごっ子SNS悩み相談
 - ・LINE・Web で悩みを相談できる窓口が開設されています。
 - •「ひょうごっ子 SNS 悩み相談」で検索し、友だち登録をしてください。

〔相談期間〕令和3年4月1日(木)~令和4年3月31日(木)

〔相談時間〕17:00~21:00(相談受付は20:30まで)

※8月23日から9月10日までは、前後1時間延長されています。

◆ひょうごっ子悩み相談センター丹波教育事務所分室

電話相談079-552-6059 (通話料有料)

対応:月~金9:00~17:00(日・祝日と12/28~1/3は休み)